



まごころ便り

令和8年4月9日
荒川区立第七中学校
学校だより 4月号
校長 佐藤 正敏

新年度ご挨拶

荒川区立第七中学校
校長 佐藤 正敏

このたび、本校校長として着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。前任では、足立区立蒲原中学校で副校長をしておりました。これまで、教員そして管理職として、豊島区、大田区、そして足立区で勤務してまいりました。

私は北区滝野川に居住して、20年近くになります。あらかじめ遊園地をはじめ、荒川区は生活圏として身近な地域であり、私にとって「地元」に近い存在です。その一方で、あらためて、この地に関わる中で、これまで気付かなかった魅力や新たな発見に日々心を動かされています。

校長として学校経営に全力で取り組むことはもちろんですが、私自身、この春に中学校を卒業した息子と、中学2年生になる娘の保護者の一人です。保護者の皆様と同じ目線に立ち、ともに考え、悩み、協力しながら、子どもたちの成長を支えていける存在でありたいと考えております。

さて、始業式では生徒たちに「七転び八起き」という言葉について話をしました。

『私自身が、若い頃から大切にしてきた言葉ですが、何が成功で何が失敗かは、その時点では分からないことも多く、長い時間の中で見えてくるものです。大切なのは、そのたびに起き上がろうとする気持ちです。』

「七回転んでも八回起き上がる」と言われていますが、起き上がる回数が多いのは、いつ転んでも立ち上がろうとする強い意志の表れ、また、周囲の支えという「もう一つの力」があるからとも言われています。

ただし、自分自身が立ち上がろうという気持ちがなければ、周囲の力だけで、その人を立たせることはできません。さらに、生徒たちには次のような話もしました。

つらさや悩みを感じる時、もうだめだと思ふ時、それは「もう一度立ち上がろう」とする心の表れでもあります。困ったときには、一人で抱え込まず、先生や周りの大人を頼ってください。私たちは、いつでも皆さんのそばにいます。』

本校が、生徒一人ひとりにとって安心して挑戦できる場所となるよう、教職員一同、力を合わせてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

